

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-219953

(43)公開日 平成10年(1998) 8月18日

(51)Int.Cl.<sup>9</sup>

E 0 4 F 11/17

識別記号

F I

E 0 4 F 11/16

5 0 1 B

審査請求 未請求 請求項の数 5 F D (全 5 頁)

(21)出願番号

特願平9-33340

(22)出願日

平成9年(1997) 1月31日

(71)出願人

000108719

タキロン株式会社

大阪府大阪市中央区安土町2丁目3番13号

(72)発明者

岡田 伊隆

大阪府大阪市中央区安土町2丁目3番13号

タキロン株式会社内

(72)発明者

里見 昭宣

大阪府大阪市中央区安土町2丁目3番13号

タキロン株式会社内

(72)発明者

久保田 武治

大阪府大阪市中央区安土町2丁目3番13号

タキロン株式会社内

(74)代理人

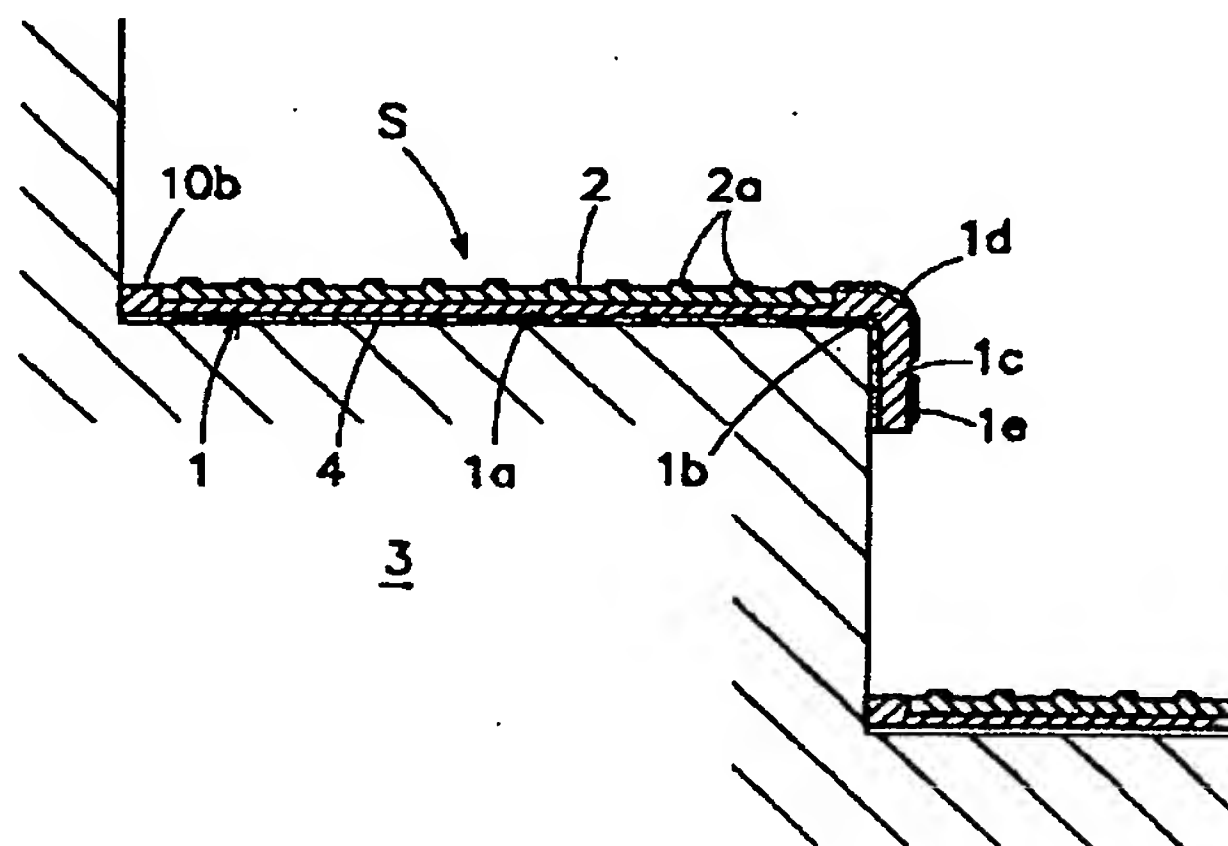
弁理士 永田 久喜

(54)【発明の名称】 床シート

(57)【要約】

【課題】 階段との接着性が良く、耐久性に富み、良好な滑止め機能を有する階段用の床シートを提供する。

【解決手段】 階段3に貼付ける床シートSであって、合成樹脂製の基材シート1の踏み面部1aより先端側を下方に略90°折り曲げてコーナー部1bと蹴上げ部1cを形成し、基材シート1の踏み面部1aの表面側に、多数の突起2aを表面に形成した弾性シート2を、その表面が露出するように埋設一体化した構成とする。合成樹脂製の基材シート1によって階段3との接着性を高め、突起2aを形成した弾性シート2によって良好な滑止め効果を発揮させ、弾性シート2を埋設して基材シート1で裏面から補強することにより弾性シートの劣化を抑制して耐久性を向上させる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】階段に貼付ける床シートであって、合成樹脂製の基材シートの踏み面部より先端側を下方に略90°折り曲げてコーナー部と蹴上げ部を形成し、基材シートの踏み面部の表面側に、多数の突起を表面に形成した弾性シートをその表面が露出するように埋設一体化したことを特徴とする床シート。

【請求項2】弾性シートが加硫ゴムシートであることを特徴とする請求項1に記載の床シート。

【請求項3】基材シートの踏み面部の後端縁を残して弾性シートを埋設一体化したことを特徴とする請求項1又は請求項2に記載の床シート。

【請求項4】基材シートの踏み面部の後端縁と両側端縁を残して弾性シートを埋設一体化したことを特徴とする請求項1又は請求項2に記載の床シート。

【請求項5】基材シートのコーナー部に肉盛り部を並列に形成したことを特徴とする請求項1ないし請求項4のいずれかに記載の床シート。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は階段用の床シートに関し、特に、スパイクシューズを履いて昇降するゴルフ場やゴルフ練習場の階段等に好適に貼付けられる床シートに関する。

【0002】

【従来の技術】スパイクシューズを履いて昇降するゴルフ場やゴルフ練習場の階段は特に滑りやすいため、足を踏み外したり転倒したりする危険性がある。

【0003】そこで、このような階段の踏み面には、通常、滑り止め用のゴムシート等が貼付けられている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、滑り止め用のゴムシートは接着性に劣り、床用の接着剤で階段の踏み面に貼付けることが難しいため、これまではゴム系の粘着剤を用いて階段の踏み面に貼付けている。けれども、ゴム系粘着剤は接着剤に比べると貼付強度が弱く、劣化により粘着力が低下するため、ゴムシートの端から捲れて剥がれやすいという問題があり、このようにゴムシートが剥がれると、スパイクシューズのスパイクがゴムシートに引っ掛かって、つまずいたり転倒したりする危険性があった。

【0005】しかも、滑り止め用のゴムシートは直射日光等によって劣化しやすいため、スパイクが繰り返し突き刺さるとボロボロにひび割れし、そのひび割れ部分から剥離が進行して階段の踏み面が部分的に露出するようになるので、短期間で新しいゴムシートに張り替える必要があり、耐久性に劣るという問題があった。

【0006】本発明は上記の問題に鑑みてなされたもので、その目的とするところは、階段に対する接着性が良好で耐久性に富む階段用の床シートを提供することにあ

る。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明の請求項1に係る床シートは、階段に貼付ける床シートであって、合成樹脂製の基材シートの踏み面部より先端側を下方に略90°折り曲げてコーナー部と蹴上げ部を形成し、基材シートの踏み面部の表面側に、多数の突起を表面に形成した弾性シートをその表面が露出するように埋設一体化したことを特徴とするものである。

【0008】そして、請求項2に係る床シートは、請求項1の床シートにおいて、弾性シートが加硫ゴムシートであることを特徴とし、請求項3に係る床シートは、請求項1又は請求項2の床シートにおいて、基材シートの踏み面部の後端縁を残して弾性シートを埋設一体化したことを特徴とし、請求項4に係る床シートは、請求項1又は請求項2の床シートにおいて、基材シートの踏み面部の後端縁と両側端縁を残して弾性シートを埋設一体化したことを特徴とし、請求項5に係る床シートは、請求項1ないし請求項4のいずれかの床シートにおいて、基材シートのコーナー部に肉盛り部を並列に形成したことを特徴とするものである。

【0009】請求項1の床シートは合成樹脂製の基材シートが良好な接着性を有するため、床用の接着剤を用いて階段に強固に貼付けることができる。しかも、この基材シートは先端側を下方に略90°折り曲げてコーナー部と蹴上げ部を形成してあるため、階段の踏み面から蹴上げ面の上部までを覆うように接着剤で貼付けることができ、このように蹴上げ面の上部まで貼付けると基材シートが捲れにくくなるので、剥離を十分に防止することができる。

【0010】また、この床シートは、基材シートの踏み面部の表面側に、多数の突起を表面に形成した弾性シートを埋設一体化してあるので、この弾性シートによって優れた滑り止め作用を発揮することができる。そして、この弾性シートは基材シートによって裏面から一体に補強されているため、スパイクシューズのスパイクが繰り返し突き刺さっても、それほどボロボロにひび割れすることがなく、従来のゴムシートのようにひび割れ部分から剥離が進行することは殆どないので、耐久性に優れている。

【0011】特に、請求項2の床シートのように弾性シートが加硫ゴムシートであると、この加硫ゴムシートが弾力性に富む比較的劣化しにくいシートであるため、スパイクによる損傷が少なくなり、耐久性が更に向上することになる。

【0012】そして、請求項3の床シートや請求項4の床シートのように、基材シートの後端縁や両側端縁を残して弾性シートを埋設一体化してあると、弾性シートの後端や両側端が基材シートから剥離するのを防止するこ

とができる。

【0013】更に、請求項5の床シートのように、基材シートのコーナー部に肉盛り部を並列に形成してあると、コーナー部の早期磨滅による破れを防止することができ、また、シート表面に降り注ぐ雨水は肉盛り部と肉盛り部の間から速やかに流下するので、シート表面の雨水によるスリップの危険性をなくすこともできる。

【0014】

【発明の実施の形態】以下、図面に基づいて本発明の具体的な実施形態を詳述する。

【0015】図1は弾性シートを一部切り欠いた本発明の一実施形態に係る床シートの平面図、図2は同床シートの正面図、図3は図1のA-A線拡大断面図、図4は弾性シートを一部切り欠いた本発明の他の実施形態に係る床シートの平面図である。

【0016】この床シートSは基材シート1と弾性シート2から成り、図3に示すように、基材シート1は踏み面部1aより先端側を下方に略90°折り曲げてコーナー部1bと蹴上げ部1cを形成している。そして、図1～図3に示すように、コーナー部1bには、多数の肉盛り部1dを小間隔をあけて並列に形成している。この肉盛り部1dは、コーナー部1bの早期磨滅による破れを防止するためのものであり、肉盛り部1dと肉盛り部1dの間の凹部は、床シートに降り注ぐ雨水を流下排水させる排水溝の役目を果たすものである。

【0017】また、基材シート1の蹴上げ部1cには、複数の縦リブ1eを大きな間隔で並列に形成している。この縦リブ1eは、蹴上げ部1cの反りを防止し、後述するようにこの蹴上げ部1cを階段の蹴上げ面に接着しやすくする役目を果たすものである。

【0018】この基材シート1は、ポリエチレン、ポリプロピレン等のオレフィン系樹脂や塩化ビニルなどの合成樹脂より成るシートであって、炭酸カルシウム等の充填材や種々の添加剤、着色剤などが含有されている。

【0019】一方、上記の弾性シート2は、多数の滑り止め用の突起2aを表面に形成したもので、図1、図3に示すように、基材シート1の踏み面部1aの後端縁10aを残して該踏み面部1aの表面側に埋設一体化されており、弾性シート2の表面が露出している。

【0020】この弾性シート2は、踏み面部1aの全域に亘って埋設一体化してもよいが、上記のように踏み面部1aの後端縁10aを残して弾性シート2を埋設一体化すると、弾性シート2の後端が基材シート1から剥離するのを防止できる利点がある。また、図4に示す床シートSのように、踏み面部1aの後端縁10aと左右の両側縁11a、11aを残して弾性シート2を埋設一体化すると、弾性シート2の後端及び両側端が基材シート1から剥離するのを防止できるので、より一層望ましい。

【0021】弾性シート2としては、各種のゴムや樹脂

発泡体などから成るシートを使用できるが、特に、加硫ゴムシートを使用することが望ましい。かかる加硫ゴムシートは弾力性に富み、比較的劣化しにくいものがあるため、スパイクシューズで踏みつけてもスパイクによる損傷が少なく、耐久性が良いからである。

【0022】なお、この実施形態の床シートSでは、弾性シート2の表面と基材シート1の踏み面部1aの後端縁10aの表面が面一となるように弾性シート2を埋設一体化しているが、弾性シート2の表面が後端縁10aの表面より高くなるように埋設一体化したり、逆に低くなるように埋設一体化してもよいことは言うまでもない。

【0023】以上のような構成の床シートSは、例えば、基材シート1の踏み面部1aに弾性シート2を重ねて加熱、加圧し、軟化溶融した踏み面部1aに弾性シート2を一体に埋め込む方法などによって、簡単に製造することができる。その場合、弾性シート2の裏面に微細な凹凸（不図示）を予め形成しておき、基材シート1との接合強度を高めることが望ましい。

【0024】図5は床シートSの使用状態を示す断面図であって、図示のように、この床シートSは、階段3の踏み面から蹴上げ面の上部までを覆うように接着剤4で貼付けて使用される。既述したように、この床シートSは基材シート1が接着性の良好な合成樹脂製シートであるから、接着剤4として市販の床材用の接着剤を用いて強固に貼付けることができ、しかも、基材シート1の蹴上げ部1cを階段3の蹴上げ面の上部に貼付けて基材シート1が捲れないようにしているので、剥離の心配は皆無に等しい。また、この床シートSは基材シート1の先端側を下方に略90°曲げ加工して蹴上げ部1cを形成してあるため、貼付け作業時に該蹴上げ部1cが階段3の蹴上げ面から跳ね上がることがなく、且つ、縦リブ1eによって蹴上げ部1cの反りも防止されるので、貼付作業を容易に行うことができる。

【0025】上記のように床シートSを階段3に貼付けると、多数の突起2aを表面に形成した弾性シート2によって優れた滑り止め効果が発揮されるので、階段昇降時に足を滑らせて転倒する危険性を解消することができる。そして、階段を昇降するたびにスパイクシューズのスパイクが弾性シート2に突き刺さっても、この弾性シート2は基材シート1によって裏面から一体に補強されているため、それほどボロボロにひび割れすることがなく、従来のゴムシートのようにひび割れ部分から剥離が進行する心配は殆どない。また、基材シート1のコーナー部1bには肉盛り部1dを形成してあるので、該コーナー部1bが早期磨滅により破れる心配もない。従って、この床シートSは耐久性が良好であり、従来のゴムシートのように短期間で新しいシートに張り替える必要がないので、経済的である。特に、弾性シート2が加硫ゴムシートである場合は、既述したように耐久性が一層



向上するようになる。

【0026】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、本発明の床シートは接着剤で階段に強固に貼付けることができるので剥離の心配が皆無に等しく、弾性シートによって良好な滑り止め効果を発揮することができ、スパイクシューズのスパイクが繰り返し弾性シートに突き刺さっても、ボロボロにひび割れしてひび割れ部分から剥離が進行することは殆どないので耐久性に優れるといった顕著な効果を奏する。

【0027】特に、弾性シートとして加硫ゴムシートを用いた床シートはスパイクによる損傷が少なく、また、基材シートのコーナー部に肉盛り部を形成した床シートは、コーナー部の早期磨滅による破れを防止できるので、いずれも耐久性が一層向上するといった効果を奏し、更に、基材シートの後端縁や両側縁を残して弾性シートを埋設一体化した床シートは、弾性シートの後端縁や両側縁が基材シートから剥離する心配もなくなるといった効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態に係る床シートを、その弾性シートを一部切り欠いて示す平面図である。

【図2】同床シートの正面図である。

【図3】図1のA-A線拡大断面図である。

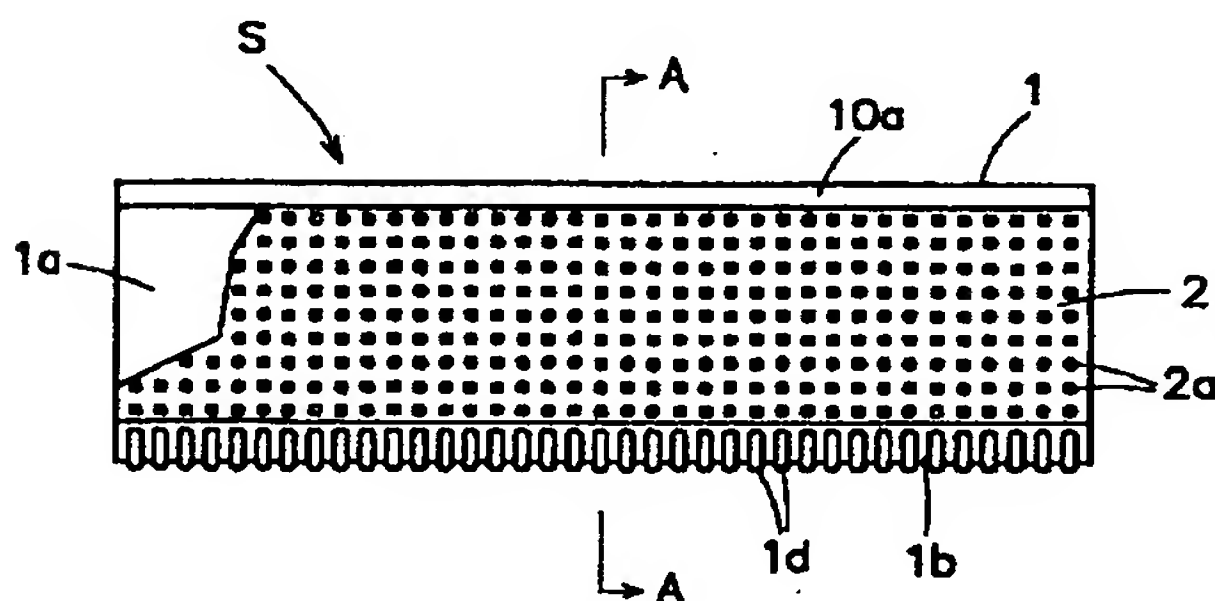
【図4】本発明の他の実施形態に係る床シートを、その弾性シートを一部切り欠いて示す平面図である。

【図5】本発明の床シートの使用状態を示す断面図である。

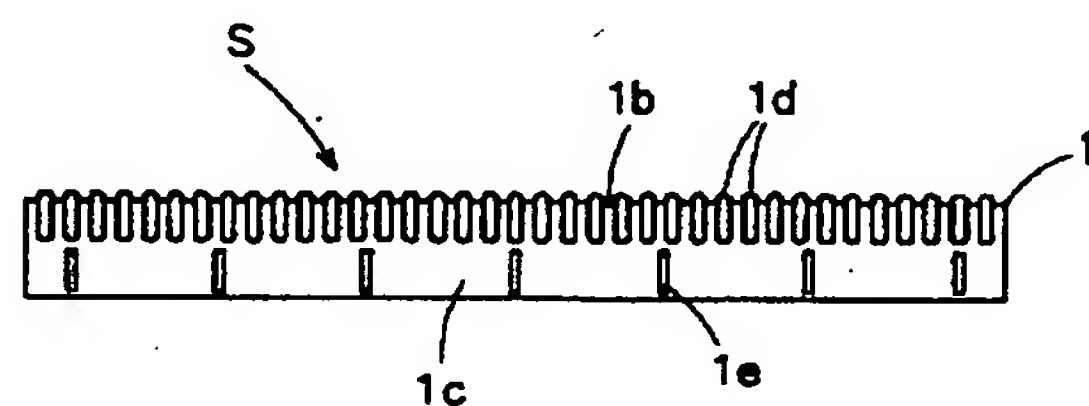
【符号の説明】

- 1 基材シート
- 1a 踏み面部
- 1b コーナー部
- 1c 蹴上げ部
- 1d 肉盛り部
- 10a 踏み面部の後端縁
- 11a 踏み面部の両側縁
- 2 弾性シート
- 2a 突起
- 3 階段
- 4 接着剤

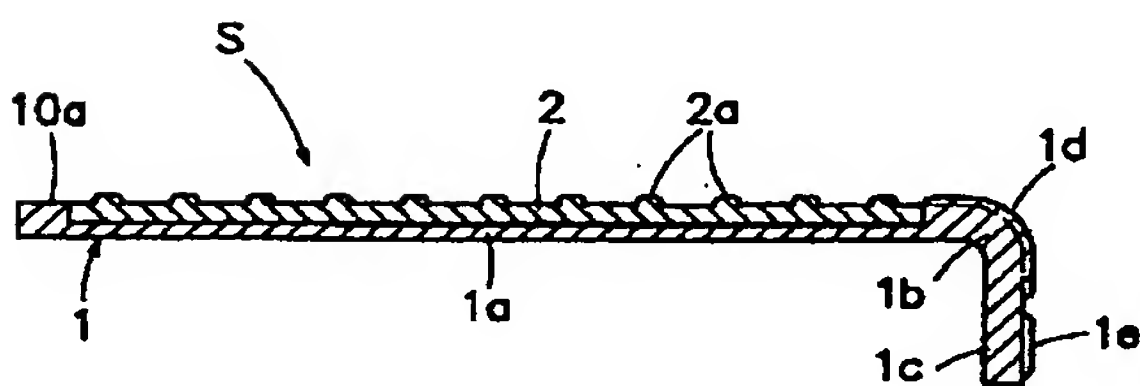
【図1】



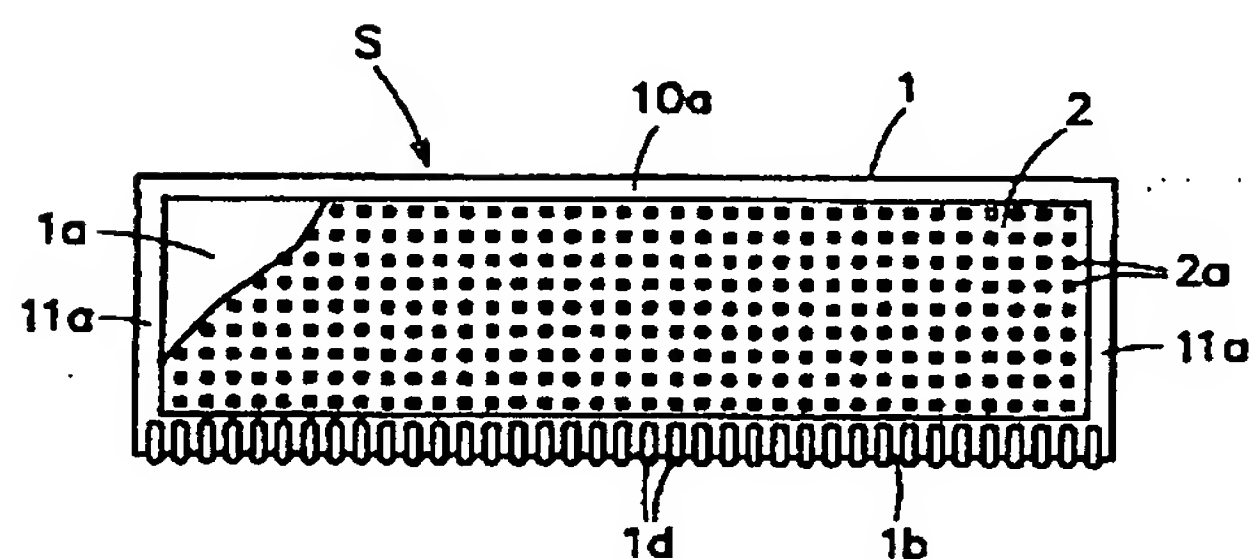
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

